



知事×動

YOKOHAMA SHIKAI MORIHIRO REPORT
横浜市議員 Mori Hirotaka 25-20

森ひろたか 市政レポート

森ひろたか政務活動事務所
〒240-0002 横浜市保土ヶ谷区宮田町 2-157-7
TEL: 045-336-3507 FAX: 045-336-3508

森ひろたか公式 LINE
友達追加お願いします!
LINEで直接相談できます!



森ひろたか YouTube
チャンネル
スタート!



議会ダイジェスト 令和8年度予算編成に向けて市民・地域の声をもとに市長に手交!

「地域の声」が政策の原点!」を掲げこれまで約 2000 件を超える地域・生活課題に対し自らの足で現場を確認、改善策を市区に提言し課題解決を図ってきました。また、保土ヶ谷区に特化した地域課題についても毎年市長に対し予算要望活動を行ってきました。昨年度においてはごみ集積場所設置に関する課題や市保有施設を活用した移動販売場所の拡充、高齢者の見守り安否確認機器の導入、保土ヶ谷駅西口駅前福祉車両停止場所の確保、通学路の安全対策として区内初となるゾーン30プラスの導入、歩道の雑草生育抑制対策の試行実施等、進捗中を含めると約66%の課題を前に進めることができました。

次期予算編成にあたっては、二重苦・三重苦とも言える市民生活の現状を早期に改善していくことや持続可能な都市としていくための施策、その他子育て・福祉医療・防災減災・交通政策・まちづくりなど重点 10 項目各局 342 項目各区 285 項目(保土ヶ谷区 33 項目)合計 637 項目をとりまとめ山中市長及び副市長に課題の共有と迅速な対応を強く求めました。未だ改善に至っていないものをはじめ、寄せられた地域・区民の切実な声を着実に課題解決するため引き続き粘り強く取り組んでまいります。



「市政報告・感謝の集い 2025」

日にち：2025年12月6日(土)

時間：16:00~(受付開始15:30~)

場所：横浜水道会館(松原商店街内)
※相鉄線天王町駅下車徒歩8分
〒240-0002
横浜市保土ヶ谷区宮田町1丁目5-7
TEL:045-341-6861

会費：3000円

※参加ご希望の方は「森ひろたか事務所」までご連絡ください。

「2026年予算市会の焦点」出演決定

日にち：2026年2月上旬・中旬に配信予定

放映媒体：横浜市会 YouTube

市民の暮らしに直結する予算。令和8年度予算案に対する注目点や課題等について分かりやすくお伝えをしたいと思います。

従来はテレビ神奈川で放映されていましたが YouTube 配信に変更となっています。

森ひろたか公式 YouTube も是非閲覧ください!



現場
現物 現実

もっと良くする! 現場力と提案力で課題解決に挑む! ~事例紹介~



子育て世代に向けた新たな支援制度 現場・子育て目線で改善案を進言

子育て応援アプリ「パマトコ」



令和6年6月からスタートした子育て応援アプリ「パマトコ」。行政手続きのデジタル化を進め胎児から1歳までの保護者の利用者は増加傾向ですが、保育園や幼稚園に入園する4歳以降の利用者に課題がありました。

今後学齢期の子どもがいる保護者への利用拡大を見据え「すぐーる」や「放課後 e-場所システム」と連携することとなりました!!

より有益なサービスやコンテンツを目指し引き続き機能拡大に取り組みます!



妊産婦・こどもの健康相談



モデル実施されていた「妊産婦・こどもの健康相談」事業。令和7年1月より全市展開されましたが、相談から回答までの待ち時間(24時間以内の回答)による相談者の不安感について指摘。実際の利用状況や利用者の声を踏まえ専門家による相談に加え、生成 AI やチャットボット技術をベストミックスさせ不安の解消と利便性の向上を強く求めました。

今後より安心して相談できる相談体制を構築していきます!!

おむつの質の確保と低価格利用を!

令和6年4月から試行実施された「にもつ軽がる保育園事業」子育て世帯において共働きの多く占める現状を踏まえ、登園時の保護者負担と保育園・士の負担軽減を図ることを目的に「おむつ・食事用エプロン等の定額利用サービス(サブスク)」に対する支援を行ってきました。

参加保育園と利用者も徐々に増えておりますが、利用料とおむつの質等に不安を抱える声が寄せられていました。

おむつの質の確保と受益者負担の適正化・平準化について進言し改善に向け取り組んでいます!



いじめ・虐待根絶に向けて!



初当選以来「いじめ・虐待の根絶」を掲げ取組を進めてきました。

特に私が危惧するのは虐待を受けていても、虐待と認識できない可能性が高い小学校低学年以下の子どもたちです。無垢な子どもたちは、親の愛情表現と勘違いし、周囲の環境をそのまま受け入れてしまいます。

初当選以来取り組んできた結果一定の成果は得られましたが、まだまだ十分とは言えません。教育委員会と連携し一人一台端末ですべての子どもたちが直接相談でき、いじめ・虐待や体罰について分かりやすい動画啓発や教育を求めています!

持続可能な水道事業について



蛇口を捻れば安心して良質な「水」が出る横浜の水道事業も人口減少に伴う水需要の減少に加え、建設・敷設から数十年経過した施設の老朽化・耐震化等、令和10年度には財政的に事業継続が困難になることが想定されています。

たとえ経営努力によって、令和10年度に資金不足を回避できたとしても、令和11・12年度に資金の確保ができるかは不透明な状況です。将来に渡って安全で良質な「水」を提供するためには水道システムの再編が必要です。

こうした課題認識の上で

- 神奈川県・横浜市・川崎市・横須賀市・広域水道企業団による広域連携とダウンサイジング
- 将来を見据えた適正な受益者負担と広域的な経営戦略
- 水道事業の心臓部である本市浄水施設の堅持と技術力の継承

について課題提起するとともに現状について市民に広く周知と理解を得ることを求めました。明治20年に給水を開始してから今日まで、市民生活を支えてきた横浜水道。

「水」は生きていくうえで必要不可欠です。持続可能な事業とするための大きな転換点を迎えています。





皆さまからお寄せ頂いた**声**を33項目の提言・要望に取り纏め、保土ヶ谷区に予算要望・改善提案いたしました！



空き家・ごみ・不法投棄の改善について



- 管理不全かつ所有者が特定できない空き家について行政代執行も視野に一步踏み込んだ対応を進めること。また、その対応状況等について当該自治会・町内会、周辺居住者と情報の共有を行うこと。
- 民地の山林や死角スペースなどにごみの不法投棄が散見される。不法投棄防止夜間警報装置や監視カメラの設置について個人でも相談・助成が受けられる仕組みを検討すること。あわせて、民地に不法投棄されたごみ等の撤去も検討すること。
- 10世帯以下の集合住宅または10戸以下の戸建て住宅が複数棟建築される際にも、敷地内にゴミ集積場所を設置するよう「ゴミ集積場所設置基準」の戸数見直しを行うこと。



高齢者に優しいまちづくり

- 今後高齢化は急速に加速する。食と医療は生きていく上で最も重要であることから、現在区内で実施されている食品移動販売のノウハウを活かし、医療分野（ドラッグストア等）の移動販売を展開すること。
- 西谷駅北口交番前の歩道橋においては高齢化に伴って、16号線の乱横断が散見される。駅前の歩道橋の廃止及び横断歩道の新設を行うよう国や警察に要望すること。あわせて西谷駅周辺のまちづくりの検討において当該場所の改善を図る方策を検討すること。
- 買い物難民対策として近年広がりを見せている移動販売サービスのニーズ調査を自治会・町内会と連携・把握し、場所の拡充を図ること。あわせて生鮮食品にとどまらず日用品や医薬品などの移動販売についても区内展開できるよう事業者と検討・調整を進めること。
- 令和7年度予算に高齢者の見守り・安否確認を支援するため見守り機器の一部補助予算が計上された。区として積極的な広報と高齢化率の高いエリア等にトライアルするなど安心して住み続けられる支援を積極的に行うこと。



バリアフリー化の推進

- 西谷駅および周辺は狭隘かつ傾斜等地形的課題によってバリアフリー化が遅れている。高齢者や障がい者などを含むすべての方が利用しやすい駅となるよう西谷駅南口にエレベーターの設置もしくはエスカレーター上下線の整備を行うこと。あわせて南口の駅前開発について具体的な計画を早期に取り纏めるとともに長年懸案事項で川島町・くぬぎ台方面から西谷駅へアクセスするための地域交通の確立と西谷駅南口自転車駐車場を活用したロータリー化（バス・タクシー・福祉車両等）と路線化に向けた具体的な検討を行うこと。



安心・安全なまちづくり

- 岩間町交番の建て替え・老朽更新を行う際（検討の際）には、保土ヶ谷橋交番の保土ヶ谷駅東口移設や地域ニーズ等を十分に考慮し、天王町駅周辺への移設を関係各所と協議すること。
- 車いす使用者が安心して乗降できるよう保土ヶ谷駅東口に福祉車両乗降場所を確保すること。あわせて介護タクシーや福祉有償運送車両、福祉車両においてはロータリー進入を許可するよう関係各所と協議すること。
- 個別避難計画の策定にあたっては、高齢者や障がい者等が確実に避難に繋がるよう中学校や高校（県立・私立含め）、民間事業所など地域資源を最大限活用し、避難場所の柔軟性を高めること。また、多子世帯への支援体制についてもあわせて検討すること。
- 区独自取り組みとして、地域の特性に応じたハザードマップの作成やいっとき避難場所の管理及びマップ化の支援を強化すること。
- 犬の散歩時に防犯パトロールを実施する市民参加型の取り組みが他区で展開され一定の効果が確認されている。保土ヶ谷区においても他区の好事例を参考に予算を確保し地域防犯力強化を進めること。



地域交通ネットワークの充実

- 地域で眠る輸送資源（民間事業者による各種送迎バス）の活用は費用対効果や持続可能性が高い取り組みであることから、都市整備局に対し区として積極的に働きかけを行うこと。

子育て支援・教育の拡充



- 学習支援や不登校支援等を実施している地域学校協働本部に対する財政支援の拡充を図ること。あわせて不登校支援対策として仮想空間等を活用した学びの多様化について積極的に研究・導入すること。
- 近年、IT人材不足や国民のITリテラシー不足が切実な課題となっており、加速し続けるIT社会でプログラミング教育の必要性が高まっている。区内でもプログラミング教育が導入されている小学校もあり、論理的思考力や問題解決能力、創造力など非認知能力の育成にも寄与するとの声もある。導入事例校の先進的取り組みを各校へ水平展開し、民間とも連携しながら学びの公平性を確立すること。
- 少子高齢化に伴い区内小学校においても統合または廃校の懸念がある。世田谷区（池尻中学校/HOME WORK VILLAGE）の取り組みを参考に新たな賑わいや企業集積、地域交流スペースや市民図書館など新たな発想と取り組みを検討すること。あわせて廃校を活用した公文書館についても検討すること。



契機を捉えたまちづくり

- 区役所建て替えにあたって、これまでの懸案事項（バスによるアクセスや駐車場・駐輪場の拡充、執務・会議スペースの確保、暮らしに関わる区の機能の集約、公会堂や図書館、スポーツセンター、文化施設の老朽化等）を総合的に勘案し、同時期に建て替えが必要となる市営川辺町住宅及び保土ヶ谷車庫のファンリティマネジメントについて財政局・建築局・交通局と協議を開始し素案を纏めること。
- 相鉄東急直通線開業を契機とした西谷駅前の開発が切望されている。西谷駅南北周辺のまちづくりにおいては、区民の声を反映した計画とすること。



交通安全対策の推進

- 新桜ヶ丘地区においてゾーン30プラスの取り組みが実施され大きな効果を得ている。区内好事例を広報啓発するとともに他地区にも積極的に展開すること。
- イオン天王町店の建設に伴い新設された道路（交通局保土ヶ谷車庫側）と水道道のT字路においては、信号設置や注意喚起表示など必要な対策を講じること。合わせて、市営川辺町住宅前（水道道）に残された信号機のない横断歩道について歩行者の安全確保策として移設を行うこと。
- 鶴ヶ峰天王町線蔵王神社前の交差点の車両停止線（鶴ヶ峰天王町線）を両群橋方面に5メートル程度後退もしくは電柱の移設を行い、交差点の安全確保及び歩行者の安全確保を行うこと。
- 霞台50-35付近にある木中電柱においては数十年経過また道路内敷設されていることから通行支障および倒壊の恐れがあり危険な状態にある。コンクリート電柱化および移設場所の確保について区として町内・自治会と協議すること。
- 歩道の雑草生育抑制策として令和6年3月頃に施工（藤塚IC付近）した縁石と舗装の間をゴム等で埋める対策の効果を検証し、区内水平展開すること。また、雑草除草作業の負担軽減や予算軽減によって得られた効果で道路補修やスクールゾーンの交通安全対策等これまで以上に進めること。



その他要望事項

- 保土ヶ谷公会堂の和室においては座卓・座布団利用となっている。和座・座卓兼用テーブルに更新し、障がいの有無に関わらず誰もが利用しやすい施設とすること。
- 上菅田市民の森の施工にあたっては、懸案事項であった接道道路（道路幅が狭く車両のすれ違いが困難）の課題も含め解消するとともに、眺望場所や散策路等へ工夫を凝らすこと。あわせて周辺住民・自治会と十分情報の共有及び連携するとともに竣工後の維持管理体制について早期に体制を構築すること。
- 三ツ沢公園再整備の検討にあたっては、隣接する町内・自治会や関係団体等の意見を踏まえ、十分な情報の共有と合意形成を図っていくこと。
- 区制100周年の機運醸成に向け、駅のホームや区内の各商業施設等、積極的に区の歌を活用すること。
- 神奈川県立保土ヶ谷公園体育館においては空調設備がない。特に夏場においては熱中症リスクも高いことや災害時の避難所環境整備の観点から冷暖房設備を早期に設置すること。
- 年々期日前投票のニーズ及び投票率は高まってきている。西谷地区方面に臨時もしくは常設の期日前投票所を設置し、分散投票できるようにすること。
- 環状二号線の落書防止対策として、防犯カメラの設置や落書がされにくい素材の活用、小中高等学校等の生徒によるアートなど具体策を早期に講じていくこと。